

組織力強化のための管理

コース番号：043-002

2024年

開催日時：6月14日(金)

募集締切：5月31日(金)

9:30~16:30 (6時間)

開催場所：ポリテクセンター山梨 (裏図参照)

定員：16名程度 (先着順)

推奨者：中堅層~管理者層

受講料

3,300円 (税込)

コースの狙い

組織における管理者の役割や、組織力の強化のための具体的な手法を理解し、組織目標の達成に向けた強い組織の構築手法を習得します。

主な訓練内容

◎ 目標達成における管理者の役割

- (1) マネジメントとは何か
管理者に求められる「マネジメント」を、目的、方法、対象という3つの観点から定義を確認する。
- (2) マネジャーに期待される役割
管理者に求められる役割を、「目標達成のマネジメント」「職場の問題解決」「メンバーの指導・育成」「活力ある職場づくり」に整理し、それぞれの概要を確認する。
- (3) リーダーシップ理論
自分らしいリーダーシップを考える際の糸口とするため、様々なリーダーシップ理論(資質論/行動論/状況論など)の概要を確認する。
- (4) 信頼とリーダーシップ
どのようなリーダーシップスタイルにも欠かせない「信頼」の要件として、ポジションパワーではなく、パーソナルパワーが求められることを確認する。

◎ 組織力の強化

- (1) ビジネスコーチングとは
ビジネスコーチングとは、組織目標の達成と人材育成のために1対1でメンバーの主体性を引き出す考え方とスキルであり、管理者としての役割遂行に欠かせないものであることを確認する。
- (2) ビジネスコーチングの基本的な進め方
ビジネスコーチングの基本的な進め方について、基本ステップとコーチングサイクルを確認し、ビジネスコーチング全体をどのように進めていけばよいか確認する。
- (3) メンバーの主体性を引き出す
メンバーの主体性を引き出すために、管理者がメンバーオリエンテッド・アプローチで働きかけることと、当初は外発的動機づけの状態であっても、徐々に内発的動機づけの状態に導くことができることを確認する。
- (4) メンバーの主体性を引き出す3つのスキル
内発的動機づけが促進された状態に導いていくために、「状況説明」「発問」「傾聴」という3つのコーチングスキルが有効であることを事例についての討議を通じて確認する。3つのコーチングスキルについて、ロールプレイング演習を通じて実践力を高める。

◎ 訓練内容のポイント!

- ・本コースでは、「マネジメント(管理者の役割に求められる役割行動)」をモデル図として示します。モデル図は、管理者に求められる役割を、仕事のマネジメントと人のマネジメントの2領域・4分野というシンプルな構造になっているため、マネジメントについて初めて学ぶ方でも直感的に理解できるよう工夫しています。
- ・講義ではこのモデル図を使ってマネジメントの全体像を確認した上で、「メンバーの指導・育成」で活用できる「コーチングスキル」について取り上げ、「言われたことをやる」から「自らやるべきことを考えて動く」存在に変えていくための働きかけ方を確認します。
- ・管理者としての駆動力となるリーダーシップについては、「自分にはリーダーは向いていない」「リーダーとなる自信がない」という方が増えている現状も踏まえ、「管理者はこうあるべき」というあるべき論ではなく、「自分らしいリーダーシップの発揮方法」を検討することの重要性を説く内容を盛り込んでいます。

実施機関&講師

学校法人

産業能率大学

総合研究所兼任講師

為近 智行氏



講師Profile

大手通信会社にて移動機開発部アプリケーション開発担当として、移動機内アプリケーション(デジタル著作権等)の開発やビッグデータを用いたスマートフォン利用動向分析に従事。独立後は中小企業に対してデータ活用、IT導入支援を行いつつ、研修講師として管理職を対象とした役割認識や部下育成、OJT等に関する研修を多数実施。